

東環協ニュース

発行●東京都環境計量協議会

〒110-0016 東京都台東区台東 1 - 14 - 11
ヒロエンジニアリング(株)内
TEL (03) 5812-4111
FAX (03) 3833-6674
MAIL toukankyo@car.ocn.ne.jp
URL <http://www.toukankyo.org>

- 第 48 回通常総会報告
 - ・ 第 48 回通常総会議事録
 - ・ 総会資料
- 第 48 回通常総会後の懇親会報告
- 2025 年度 新任者教育セミナー報告
- 第 36 回 環境測定技術事例発表会報告
- 大環協環境測定技術事例発表会 交流講演
- 2025 年度 役員の役割分担について
- 関係機関・団体の動き
 - ・ 首都圏環境計量協議会連絡会
 - ・ (一社)神奈川県環境計量協議会
 - ・ (一社)埼玉県環境計量協議会
 - ・ 千葉県環境計量協会
 - ・ (一社)日本環境測定分析協会
- 東環協からのお知らせ
 - ・ 2025 年度 主要行事予定
 - ・ 事務局からのお知らせ

第 48 回通常総会報告

2025 年 5 月 8 日(木)、第 48 回通常総会がアルカディア市ヶ谷 4 階「鳳凰」で開催されました。来賓には、(一社)日本環境測定分析協会 副会長 小林 琢也様にご臨席賜りました。正会員 20 社の皆様にご出席いただき、18 社の委任状と合わせて成立の定数を満たしていることから、定刻の 17 時に近野副会長が総会の開会を宣言しました。

会則 22 条に則り、議長には平賀会長が選出され、木村副会長により昨年度の事業報告及び収支決算報告並びに今年度の事業計画・予算案の説明が行われました。総会における各議案の審議は滞りなく進行し、第 1 号議案から第 5 号議案まですべての議案が承認されました。

東環協 平賀会長の開会挨拶



平賀会長

只今、ご紹介に預かりました会長の平賀でございます。総会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はご多忙の中、多数の正会員の方をはじめ、賛助会員の方にもご出席頂き誠に有難うございます。また、来賓と致しまして(一社)日本環境測定分析協会副会長小林琢也様にご列席賜り誠に有難うございます。

この一年間、「未来へ」「発信」を大きなテーマとして当協議会を運営して参りました。各活動において小さな改革ではありますが、より目的を意識した活動へと変化が見られたと感じております。当協議会は 2027 年度には創立 50 周年を迎えます。この節目に向かい更なる改革を進めて行きたいと感じております。

また、今回の総会の審議議案には挙げておりませんが、昨今の各種経費の著しい値上がりにより各種活動が運営に支障が生じる恐れがございます。第 49 回総会において会費の値上げを検討しております。皆様ご理解の程、宜しくお願いします。

世界を見渡しますとトランプ大統領の進めるトランプ関税による貿易摩擦の激化、世界経済の不確実性、ウクライナ情勢、気候変動、日本国内においてはこの事項に加え米価格の上昇と先行き不透明な状況でございます。当協議会も時代の流れに敏感になりこの時代のスピードに合った活動及びテーマを心がけていく必要があると強く感じております。

これより第 48 回の通常総会におきまして、2024 年度の事業報告と収支決算ならびに 2025 年度事業計画案と収支予算案について審議頂くわけですが、皆様の活発な意見、討議をお願いしたいと思います。何卒、よろしくお願い致します。



《総会の様子》

2025 年 度

第 4 8 回

総 会 資 料

東 京 都 環 境 計 量 協 議 会

はじめに

春暖の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素より当協議会の事業活動につきまして、多大なご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、トランプ関税及びトランプ氏の政策の不透明感により日本だけではなく世界経済・金融市場に多面的な影響を及ぼすことが予測されております。また、環境計量業界においても、依然として低入札問題、経費の増加等多くの課題を抱え、賃上げ等が十分に実施出来ていない実情もあります。

環境業界の今後の課題として国内に目を向けますと、国家戦略としてのカーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーなどを意識した経済・社会へ総合的なアプローチが求められています。これらのアプローチは私たちの環境計量業界においても大きなチャンスであり、会員の皆様の今後の事業の発展に寄与すればと考えております。

当協議会における昨年度の事業活動は、新しい視点から「未来へ」「発信」を前面に掲げ、次世代の環境計量技術者の創造力を強化するための教育事業に重点を置くとともに、東京都環境局様、東京都計量検定所様のご協力を得ながら企画運営してまいりました。また、後述の事業活動報告にもありますように、新しい試みとして中堅技術者を対象とした web セミナーの開催、賀詞交歓会には人を元気にさせる朝チア部の応援イベントの開催を実施してまいりました。

当執行部と致しましては、今までの経験を活かして引き続き会員皆様との連携を深めて行き、「考える集団」、「夢」をテーマに会員の皆様の交流及び若手技術者の育成事業に注力して参りますので、多くの会員皆様の参加をお待ちしております。

最後になりますが当協議会は、2年後の2027年度において創立50周年を迎えることとなります。このイベントに向けて準備を進めて参りますので会員の皆様のご協力を何卒、宜しくお願い致します。

[第1号議案] 2024年度 事業報告承認の件

2024年度 事業報告

2025年3月31日現在の会員数及び役員は次のとおりです。

(会員数)

正 会 員 58 社

賛助会員 18 社

合 計 76 社

(役 員)

会長 1 名、副会長 2 名、理事 6 名、監事 2 名

1. 会議の開催

(1) 総 会 2024年度(第47回)通常総会

第47回通常総会は、2024年5月8日17時よりアルカディア市ヶ谷「鳳凰」にて、対面で開催しました。

開催日時：2024年5月8日(水) 17:00～17:30

開催場所：アルカディア市ヶ谷「鳳凰」

出席者：正会員45社(委任状20社を含む)

(2) 理事会

協議会運営のため、全役員による理事会(リモート参加を含む)を開催しました。

理事会：5回開催

(2024年5月8日、7月18日、10月7日、12月10日、2025年2月7日)

(3) 委員会会議

技術委員会、業務委員会の各委員会について、担当理事及び委員による会議を必要に応じて開催しました。

2. 事業活動

当協議会の目的を達成するため、セミナー、発表会、研修会などの各種事業を企画、開催しました。

(1) 技術関係

① 新任者教育セミナー

新任者教育セミナーは、2024年6月7日10時より砂防会館別館で対面にて開催しました。今年度も首都圏環協連合同で、(一社)日本環境測定分析協会との共同により開催することができました。

開催日時：2024年6月7日(金) 10:00～16:50

開催場所：砂防会館別館 シェーンバッハ・サボー3階 会議室(六甲)

参加者：72名(うち、東環協：4社17名)

講義1「環境計量業界で求められる職員像」

講師：(一社)埼玉県環境検査研究協会 顧問 星野 弘志氏

講義2「環境計量の基礎」

講師：(一社)埼玉県環境計量協議会 理事 赤木 利晴氏

講義3「化学分析の基礎」

講師：(一社)埼玉県環境計量協議会 理事・技術委員長

(株式会社東京久栄) 浄土 真佐実氏

② 環境測定技術事例発表会

環境測定技術事例発表会は、2024年11月20日12時50分より、アルカディア市ヶ谷「大雪」にて対面で開催し、総勢61名と多くの方にご参加いただきました。来賓には、東京都環境局環境改善部、東京都計量検定所、(一社)日本環境測定分析協会、大阪環境測定分析事業者協会より7名の皆様にご臨席をいただきました。

開催日時：2024年11月20日(水) 12:50～17:00

開催場所：アルカディア市ヶ谷「大雪」

参 加 者：72 名(発表者 5 名、会員 20 社 34 名、協賛企業 8 社 15 名、
来賓 7 名)

事例発表 1 「三点比較式臭袋法における試験開始濃度が結果に与える
影響についての検討」

発表者：株式会社環境管理センター 加藤 祐一郎

事例発表 2 「ふっ素蒸留分析における小型蒸留装置の導入事例」

発表者：株式会社オオスミ 中村 宜央

事例発表 3 「AI カメラによる交通量調査の実証試験」

発表者：ムラタ計測器サービス株式会社 福山 哲司

事例発表 4 <大環協・交流発表>

「AI 画像認識を使用した交通量調査の試み」

発表者：ダイネツ環境リサーチ株式会社 上原 貴浩

事例発表 5 「分析作業における安全衛生管理

(自社でのヒヤリハット事例より)」

発表者：いであ株式会社 近野 良哉

③ 技術研修会

2024 年度 技術研修会は 2025 年 1 月 21 日 15 時より、アルカディア市ヶ谷「霧島(東)」にて対面で開催し、総勢 52 名と多くの方にご参加いただきました。来賓には、東京都環境局環境改善部、東京都計量検定所、(一社)日本環境測定分析協会から 4 名の皆様にご臨席を賜りました。

開催日時：2025 年 1 月 21 日(火) 15:00～17:00

開催場所：アルカディア市ヶ谷「霧島(東)」

参 加 者：52 名(参加者 24 社 40 名、協賛企業 2 社 4 名、日環協 1 名、
講師 2 名、来賓 4 名)

講演 1 「環境計量証明事業者に対する立入検査について」

講師：東京都生活文化スポーツ局計量検定所

検査課長代理 鈴木 麗子様
講演 2「東京都の大気汚染対策～環境基本計画、大気の現状、
アスベスト対策～」

講師：東京都環境局環境改善部
大気保全課長 名取 雄太様

④ 技術交流

2024 年 9 月 20 日に大阪環境測定分析事業者協会(大環協)が主催する「環境測定技術事例発表会」に参加し東環協からも交流講演を行い、技術交流を深めてまいりました。

⑤ 大環協主催による精度管理共同実験

精度向上を目的に、「精度管理共同実験」(主催:大環協)への参加を当協議会会員にも呼び掛けました。東環協からののは会員 4 社が参加いたしました。

(2) 業務関係

① 会員名簿

2024 年 9 月に会員名簿を発行、会員及び都内自治体に配布しました。

② 新春賀詞交歓会

2025 年 新春賀詞交歓会は 2025 年 1 月 21 日 17 時より、アルカディア市ヶ谷「鳳凰」にて総勢者 68 名の方にご参加いただき盛大に開催されました。来賓には、東京都環境局環境改善部、東京都計量検定所、(一社)日本環境測定分析協会より 5 名の皆様にご臨席いただきました。

開催日時：2025 年 1 月 21 日(火)17:00～

開催場所：アルカディア市ヶ谷「鳳凰」

参 加 者：68 名(会員 24 社 51 名、協賛企業 5 社 11 名、日環協 1 名、
来賓 5 名)

③ 首都圏環協連関連

各県単の活動状況を報告し合い、当業界を取り巻く諸問題について意見交換を行いました。

1) 首都圏環協連委員会：3 回開催

(2024 年 6 月 28 日、8 月 16 日、12 月 3 日)

2) 2024 年度 環境計量証明事業団体合同研修会

開催日時：2025 年 2 月 21 日（金） 13:00～17:00

開催場所：グレイドパーク秋葉原

参 加：9 県単〔首都圏環協連（1 都 3 県）、北海道、福島県、大阪府、
福岡県、横浜市〕

行政〔経済産業省イノベーション・環境局計量行政室、
埼玉県計量検定所、千葉県計量検定所、東京都計量検定所、
神奈川県計量検定所〕

講演 1「計量法と環境計量証明事業について」

講師：経済産業省イノベーション・環境局計量行政室
室長 仁科 孝幸様

講演 2「立入検査からみた環境計量証明事業の現況について」

講師：埼玉県産業労働部計量検定所 斎田 吉裕様

座談会「環境計量証明事業の今後の展望について」

首都圏環協連県単の代表者（東京、神奈川、千葉、埼玉）

④ 災害防止協定相互支援協定締結団体による意見交換会

2024 年 11 月 29 日に群馬県において災害防止協定相互支援に関する情報交換
会が開催され、役員 3 名が参加し意見交換を行いました。

⑤ 親睦ゴルフ大会

首都圏環協連の合同親睦ゴルフ大会が 2024 年 10 月 25 日(金)に千葉県市原市
にある南総カントリークラブにおいて開催されました。

全体の参加者は 23 名、東環協からも 6 名参加いたしました。

⑥ 「環境計量証明事業実態調査」報告会&懇親 BBQ

一般社団法人日本環境測定分析協会の協力のもと、5 年に一度行っている「環
境計量証明事業実態調査」についての報告会及びフリーディスカッションを開催
しました。

報告会の後には、会員の皆様の懇親を目的とした BBQ を開催しました。

開催日時：2024 年 9 月 25 日(水)

開催会場：報告会（15:00～17:00）ふれあい貸会議室 秋葉原 No.53

参加者：16 社 28 名

：懇親 BBQ（17:00～20:00）両国 BBQDAYS

参加者：16 社 29 名

（3）広報関係

① 東環協ニュース

東環協ニュースを 2 回発行しました。

第 185 号：2024 年 10 月 31 日

第 186 号：2025 年 3 月 31 日

② ホームページ

東環協ホームページでは、各種行事のご案内や東環協ニュースなどを掲載しています。また、環境省、経済産業省を始め、関係省庁等の情報を取りまとめ、毎月 1 回の更新を実施しました。

③ 都民計量のひろば（東京都計量検定所関連）

東京都では、11 月 1 日の計量記念日に都民の方々に楽しみながら計量への関心を高めていただくために「都民計量のひろば」を開催しています。

2024 年度も新宿駅西口広場で開催され、多くの方にご来場いただきました。

テ ー マ：メインテーマ「くらしと計量」

サブテーマ「来て見て 触れて たしかめよう！

はかることの大切さ」

開催日程：2024 年 11 月 1 日(金) 10:30～16:00

開催場所：新宿駅西口広場イベントコーナー

主 催：都民計量のひろば実行委員会〔構成団体 東京都計量検定所、
(一社)東京都計量協会、東京都環境計量協議会、他計 16 団体〕

④ 東環協メール情報サービス

電子メールによる情報提供を 16 件 (No.350～No.365) 実施しました。

(4) 官公庁その他に対する協力

① 「災害時アスベストばく露・飛散防止研修会」の実施

東京都環境計量協議会は、2020 年 9 月 10 日付で東京都と「災害時における石綿モニタリング調査に関する協定」を締結しています。

今回は東京都環境局の主催により「令和 6 年度 災害時アスベストばく露・飛散防止研修」が開催され、当協議会からは 16 社 29 名がオンライン参加いたしました。

開催日時：2024 年 10 月 16 日(水) 10:00～15:40

開催場所：都庁第一本庁舎 5 階 大会議室

開催方法：自治体担当者の会場参加及び

関連団体のオンライン参加(Zoom ウェビナー)の併用

講演 1 「災害時における飛散防止マニュアル及び

災害時のアスベスト対策に係る協定について」

講師：東京都環境局

講演 2 「アスベストの露出状況調査について」

講師：(一社)建築物石綿含有建材調査者協会

副代表幹事 外山 尚紀氏

講演 3 「環境モニタリングについて」

講師：東京都環境計量協議会会員企業

株式会社環境管理センターソリューション事業部 塩野 拓海氏

講演後、自治体担当者を対象に会場では分析及び採取に関わる機器を利用した「アスベストの分析方法」及び「環境モニタリングの方法」について実務研修が実施されました。

以 上

[第2号議案] 2024年度 収支決算報告承認の件

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします

監査報告書

東京都環境計量協議会
会 長 平賀 積善 殿

私たちは、2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度における会計書類及び事業活動報告について詳細に監査した結果、適正であることを認めます。

2025年4月7日

東京都環境計量協議会

監事：石山 直樹 

監事：小柳 伸彦 

2025年度 事業計画（案）

1. 会議の開催

（1）総 会

2025年5月8日(木)、アルカディア市ヶ谷 4階「鳳凰」にて開催します。

（2）理事会

当該年度の事業活動に関する計画立案及び結果報告等、2年後に控える50周年記念事業の企画準備のため、全役員による理事会を年6回程度開催します。

（3）委員会会議

技術委員会、業務委員会の各委員会について、担当理事及び委員による会議を必要に応じて開催します。

2. 事業活動

（1）技術関係

- | | |
|--|----------------------|
| ① 新任者教育セミナー | 6月12日(予定) |
| ② 研修見学会 | 未 定 |
| ③ 環境測定技術事例発表会 | 8月(予定) |
| ④ 技術研修会 | 2026年1月(予定) |
| ⑤ 中堅実務者研修セミナー等
(関係官庁・友好団体主催セミナーの案内) | 7月、9月、10月、1月
(予定) |
| ⑥ 技術交流
(大環協・環境測定技術事例発表会への参加) | 9月(予定) |
| ⑦ 精度管理共同実験
(大環協・精度管理共同実験への参加呼び掛け) | 11月(予定) |

(2) 業務関係

- | | |
|-------------------|----------------|
| ① 会員名簿の発行 | 8 月(予定) |
| ② 新春賀詞交歓会 | 2026 年 1 月(予定) |
| ③ 首都圏その他の連絡会議への参加 | 随時参加 |
| ④ 特別企画セミナー | 未 定 |
| ⑤ その他(各種親睦会等) | |
| ・ゴルフ大会 | 未 定 |
| ・その他 | 未 定 |

(3) 広報関係

- | | |
|-------------------|--------------|
| ① 東環協ニュースの発行 | 年 2 回(予定) |
| ② ホームページの更新 | 原則、毎月 1 回 |
| ③ 「都民計量のひろば」への参加 | 11 月 1 日(予定) |
| ④ 各種資料の配付、メールサービス | 随時実施 |

(4) 官公庁その他に対する協力

- | | |
|------------------------------|--|
| ① 東京都計量検定所が行う講習会等への協力 | |
| ② 東京都環境局が行う講習会、災害防止対策事業等への協力 | |
| ③ (一社)日本環境測定分析協会が行う行事等への協力 | |
| ④ その他 | |

以 上

[第4号議案] 2025年度 収支予算（案）審議の件

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします

[第5号議案] 役員承認の件（関連資料）

新役員承認(案)について

会長推薦による新たな役員の承認をお願いします。

任期： 2025年5月総会後～2026年5月総会まで

	役 職	氏 名	会社名	備考
1	理 事	野田 憲弘	(一財)広島県環境保健協会	新任

* 敬称略

東京都環境計量協議会
2025年度（第48回）通常総会
議 事 録

日 時：2025年5月8日（木） 17:00～17:30
場 所：アルカディア市ヶ谷・4階「鳳凰」（東京都千代田区九段北4-2-25）
出席者：38 社（うち、総会当日までに到着分の委任状 18 社）

近野副会長が17時00分、正会員総数58社中38社の出席があり、会則第19条により総会が成立することを宣言した。

総会を開催するに当たり、最初に平賀会長が挨拶を行った。

会則第22条に従い、会長が議長となったが、議事に入る前に会長は議事録署名人として、帝人エコ・サイエンス㈱ 塚本 篤氏と新日本環境調査 川岸 邦充氏を指名し、両氏はこれを承諾した。

議 事

1. 第1号議案「2024年度事業報告承認の件」及び第2号議案「2024年度収支決算報告承認の件」について

木村副会長が、配布された総会資料に基づき両議案内容を説明した。引き続き、石山監事が2024年度決算書について詳細に監査した結果、収支状況を正しく示していると報告した。第1号議案及び第2号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

2. 第3号議案「2025年度事業計画（案）審議の件」及び第4号議案「2025年度収支予算（案）審議の件」について

木村副会長が、配布された総会資料に基づき両議案内容を説明した後、第3号議案及び第4号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

3. 第5号議案「役員承認の件」について

木村副会長より新役員承認（案）に関する説明があった。その後、第5号議案について審議した結果、異議無く承認された。

以上で第48回通常総会の議事が終了し、17時30分、近野副会長の閉会の言葉で閉会した。

以上

議 長 平賀 積善 

議事録署名人 塚本 篤 

議事録署名人 川岸 邦充 

東京都環境計量協議会 第48回通常総会 出席者名簿

2025年5月8日 17時00分より
於 アルカディア市ヶ谷 4階「鳳凰」

来賓 (一社) 日本環境測定分析協会 副会長 小林 琢也 様

No.	会 社 名	出 席 者 名	備考
1	1	いであ(株)	
2	2	(株)エオネックス	
3	6	(株)環境管理センター	
4	8	(株)環境技術研究所	
5	9	環境リサーチ(株)	
6	10	シグマジオテック(株)	
7	11	新日本環境調査(株)	
8	12	(株)総合環境分析 東京技術センター	
9	13	ダイヤアクアソリューションズ(株)	
10	14	帝人エコ・サイエンス(株)	
11	15	(一財)東海技術センター	
12	16	(株)日新環境調査センター	
13	17	日本エコテック(株)	
14	18	(株)日本シーシーエル	
15	19	(株)日本総合科学	
16	20	ヒロエンジニアリング(株)	
17	22	(一財)広島県環境保健協会	
18	23	(株)分析センター	
19	25	ムラタ計測器サービス(株)	
20	27	ユーロフィン日本環境(株)	
1	1	イー・サポート高円寺	賛助
2	2	日東精工アナリテック(株)	賛助
3	3	ビーエルテック(株)	賛助
4	4	ラボテック(株) (ラボテック東日本(株))	賛助
1	1	(一社)日本環境測定分析協会	一般

※総会開始時点における出席者

来 賓		1 名
正会員	20 社	27 名
賛助会員	4 社	4 名
一般	1 社	1 名
計	25 社	33 名

委任状 (総会当日までに到着した分)

- ・(株)環境技研 (板橋)・(株)環境技研 (杉並)・(株)環境総合リサーチ・共和化工(株)
- ・クボタ環境エンジニアリング(株)・クレアテラ(株)・(一財)小林理学研究所
- ・(株)サンコー環境調査センター・三葉化工(株)・中央建鉄(株)
- ・(株)長大・東京都鍍金工業組合・内外化学薬品(株)・日本物理探鑛(株)
- ・パシフィックコンサルタンツ(株)・(株) MIZUKEN・八千代エンジニアリング(株)
- ・ユーロフィンアグロ分析コンサルタント(株)

18 社

第 48 回通常総会後の懇親会報告

総会終了後の 17 時 30 分から会場をアルカディア市ヶ谷 6 階「阿蘇（東）」に移して、恒例の懇親会が開催されました。会員企業 20 社(33 名)、協賛企業 4 社(4 名)、一般参加 1 社(1 名)、来賓 3 名と多くの方々にご参加いただきました。今回は来賓として、東京都環境局 環境改善部長 中島隆行 様、同 大気保全課長 名取 雄太 様、（一社）日本環境測定分析協会 副会長 小林 琢也 様にご臨席いただきました。

初めに当協会の平賀会長より挨拶があり、その後、来賓を代表して東京都環境局環境改善部 中島部長からご挨拶を頂戴いたしました。続いて、（一社）日本環境測定分析協会 小林副会長による乾杯のご発声で懇親会が始まりました。



平賀会長による挨拶



中島部長による挨拶



小林副会長による乾杯のご発声

【懇親会の様子】

乾杯の後、参加された皆様が各々お食事、お酒を召し上がりながら、盛んに情報交換・名刺交換が行われ、歓談は大いに盛り上がっていました。

懇親会も中盤に差し掛かったところで、今年度から賛助会員として入会された日東精工アナリティック(株)様にご挨拶いただいた後、引き続き今回ご参加いただいた協賛企業の皆様にも企業の紹介をしていただきました。



賛助会員 日東精工アナリティック様



賛助会員 ビーエルテック様



賛助会員 ラボテック様



賛助会員 イー・サポート高円寺様

ひとしきり紹介・挨拶も終わったところで再び歓談を楽しんでおりましたが、楽しい時間はあっという間に過ぎ、宴たけなわのなか日本環境測定分析協会関東支部 吉田様より北海道で開催される日環協セミナーのご案内の後、中締をしていただき懇親会はお開きとなりました。



懇親会の様子



日環協 吉田様 紹介&中締め

東京都環境計量協議会第48回通常総会懇親会 出席者名簿

2025年5月8日 17時30分より
アルカディア市ヶ谷 6階「阿蘇（東）」

来賓 東京都環境局環境改善部 部長 中島 隆行 様
東京都環境局環境改善部大気保全課 課長 名取 雄太 様
(一社) 日本環境測定分析協会 副会長 小林 琢也 様

No.		会 社 名	出 席 者 名	備考
1	1	いであ(株)		
2	2	(株)エオネックス		
3	6	(株)環境管理センター		
4	8	(株)環境技術研究所		
5	9	環境リサーチ(株)		
6	10	シグマジオテック(株)		
7	11	新日本環境調査(株)		
8	12	(株)総合環境分析 東京技術センター		
9	13	ダイヤアクアソリューションズ(株)		
10	14	帝人エコ・サイエンス(株)		
11	15	(一財)東海技術センター		
12	16	(株)日新環境調査センター		
13	17	日本エコテック(株)		
14	19	(株)日本シーシーエル		
15	20	(株)日本総合科学		
16	24	ヒロエンジニアリング(株)		
17	26	(一財)広島県環境保健協会		
18	27	(株)分析センター		
19	29	ムラタ計測器サービス(株)		
20	33	ユーロフィン日本環境(株)		
1	1	イー・サポート高円寺		賛助
2	2	日東精工アナリテック(株)		賛助
3	3	ビーエルテック(株)		賛助
4	4	ラボテック(株) (ラボテック東日本(株))		賛助
1	1	(一社)日本環境測定分析協会		一般

来賓 3名
正会員 20社 33名
賛助会員 4社 4名
一般 1社 1名
計 25社 41名

2025年度 新任者教育セミナー報告

『新任者教育セミナー』は、環境計量証明事業の会員事業所において新入社員や新任の配属者等を対象に、環境計量の基本的な事項やキャリア形成、情報交換の交流といったことを目的として開催されています。毎年首都圏環協連（東環協、埼環協、神環協、千環協）が合同で、（一社）日本環境測定分析協会（以下「日環協」）との共催により開催しています。今回は、1都3県で73名の応募があり、東環協からは8社16名と多くの方にご参加いただきました。

セミナー後には、参加者の親睦を深めるために交流会としてBBQを開催しました。

開催日時：2025年6月12日（木）13：00～20：00

会場：両国ステーションロハスビル 3F 会議室

〒130-0015 東京都墨田区横網 1-2-28 Tel 03-5819-6610

参加費：5,000円（研修資料代・交流会費用を含む。）

スケジュール

- ・12：30～13：00 受付
- ・13：00～13：10 開会挨拶
- ・13：10～14：50 講義 「知っておくべき知識（社外交流のすすめ、今後の環境問題、会社の仕組み、労働安全衛生・化学物質管理など）」
東京都環境計量協議会副会長 近野良哉[いであ㈱]
- ・13：50～14：00 休憩
- ・14：00～15：00 パネルディスカッション
「環境測定・分析機関 技術・営業職としてのキャリア形成」
登壇者：㈱環境管理センター 関島 章光
㈱分析センター 笹嶋 宏
ユーロフィン日本環境㈱ 大中 悠斗
㈱総合環境分析 藤田 康男
- ・15：00～15：10 休憩
- ・15：10～16：50 グループセッション
- ・16：50～17：05 環境計量士受験講習会と環境測定分析士制度について
（一社）日本環境測定分析協会 西村 貴洋氏
- ・17：05～17：10 修了証授与
- ・17：10～17：15 閉会挨拶
- ・17：45～20：00 交流会 BBQ

開始時間の 13 時 00 分となり、東環協の野田理事の司会により、2025 年度新任者教育セミナーが対面開催でスタートしました。まずは、本セミナーは首都圏環協連合同開催である他、日環協関東支部共催の教育事業であることの報告がありました。続いて、セミナー参加者に対して、注意事項等の説明がありました。

その後本セミナーの主催者を代表して東環協の平賀会長より開会挨拶の後、本日の最初の講義が始まりました。

東環協 平賀会長の開会挨拶



東環協 平賀会長

只今、紹介いただきました東京都環境計量協議会の平賀でございます。
早速ではありますが、日本環境測定分析協会、東京都環境計量協議会、埼玉県環境計量協議会、神奈川県環境計量協議会、千葉県環境計量協会のホームページを見たことがある方いらっしゃいますか？是非とも、各団体のホームページを確認してみてください。そして皆様の未来において役立つイベント等を見つけてみてください。また、本日の新任者教育セミナーの出来事を社内の先輩、他部署の方、機会があれば役員の方に話してください。そして、話の中で「この様なイベントを打ってほしい」「この様な人の話が聞きたい」「こんなことが出来ないか」等の意見、アイデアを各県単へドンドン下さい。皆様の意見アイデアが、この環境計量業界の未来を創ると確信しております。

本日の新任者教育セミナーは、東京都環境計量協議会が幹事となり企画・運営を実施致します。今までは環境計量証明事業における精度管理等が基本となり、お集まりの皆様の会社でも研修される内容と考え、今回、独自性を出すことと致しました。本セミナーの中では、東京都環境計量協議会の中では若手となります役員がパネラーとなりプログラムを進行してまいります。同年代の仲間として心と情熱を込めて進行して頂けると信じております。今回の様な新任者教育セミナーのプログラムは初めての試みとなります。本日は皆様の活発な発言を期待しております。どうぞ宜しくお願い致します。

【講義】(13:10～13:50)

「知っておくべき知識(社外交流のすすめ、今後の環境問題、会社の仕組み、労働安全衛生・化学物質管理など)」

講 師： 東環協副会長 近野良哉 [いであ㈱]



東環協 近野副会長

〔講義目次〕

1. 自己実現ということ
2. 環境問題について
3. 会社という組織について
4. 労働安全衛生と化学物質管理の基本事項等

〔講義概要〕

はじめにこのセミナーの目的、ねらいとして従来の新任者教育セミナーでは分析部門の新任者を主な対象とし、日環協テキストに沿って分析作業の基本事項、労働安全衛生、精度管理等の内容に関心が沸きやすいよう工夫しながら解説していました。併せて研修後に参加者どうしが交流を深める研修内容でしたが、今回は参加者の所属部署が多様化している状況を踏まえ、参加者の交流を第一目的とし、併せてスキルアップに役立つような幅広い情報を提供することを狙いとししました。

自己実現の為には自分の将来を見渡した時に、今この場所で自分が取り組まなければならないことを明確にすることが大事であること。環境計量士や作業環境測定士などの資格取得も自己実現には大切であることなどを講義しました。

【パネルディスカッション】 (14:00～15:00)

「環境測定・分析機関 技術・営業職としてのキャリア形成」

登壇者 ㈱環境管理センター 関島章光、㈱分析センター 笹嶋宏

ユーロフィン日本環境㈱ 大中悠斗、㈱総合環境分析 藤田康男



〔トークテーマ〕

- ・ 新任時代の失敗と学び
- ・ こんな時どうする？
- ・ 仕事において心掛けていること
- ・ 自分たちの商品を想像できるか
- ・ エンジニアとセールスの壁 すれ違いあるある

東環協理事・委員の登壇者(左から大中委員、藤田理事、関島委員、笹嶋理事)

〔概要〕 社歴や仕事内容がそれぞれ異なるキャリアを持つ登壇者4名が自分たちの経験や失敗など実際に経験したことを事例に挙げて、学んだことや普段から心がけていることなどを発表しました。

【グループセッション】（15：10～16：50）

新任者教育セミナーの受講者が12グループに分かれて2つのテーマについてそれぞれ話し合い意見交換を行いました。各グループには各県単の受講者が1名以上グループに入るようにしました。

各グループ自己紹介（所属企業、氏名、勤続年数と今の担当業務、私が今、推していること）をしてからセッションが始まりました。

セッション1

テーマ

この仕事をしていて、良かったこと、嬉しかったこと、
感謝されたこと
について話して下さい

セッション2

テーマ

私のこれからのスキルアップとキャリア形成のプラン
について話して下さい

項目	説明	具体例
スキル	特定の知識や技術	・新たな検査方法を覚える ・国家資格をとる ・英語能力
キャリア	社会人としての進路	・昇進 → 総務 ・より高度な業務、業種への転出 ・社会人としての成功



【閉会及び修了証授与式】（17：05～17：15）

講義終了後、神環協の増田会長から閉会の挨拶がありました。続いて、県単ごとに分かれて修了証授与式が執り行われました。

神環協 増田会長の閉会挨拶



神環協 増田会長

皆さんお疲れ様でした。途中首都圏連絡会の会議があり、1時間ほど中抜けさせていただいて、戻ってきたときにはグループセッションの発表をされてました。非常に活発な意見が出て、いろいろなところで話さなければいけないことがあるかと思いながら戻ってきましたが必要ありませんでした。私はこの業界に40年近くいますが、40年前はこんなにしっかりした研修はありませんでした。なので少し嬉しい気持ちと、やっぱりみんなが一生懸命これだけ勉強してるっていうことについてはもう言うことはありません。ただ一言、今日いろいろと勉強をしたり耳にしたことを大事にしていきたいと思います。

輝く皆さんの将来がご隆盛であることを祈念してご挨拶とさせていただきます。今日はお疲れ様でした。



修了証授与式 I



修了証授与式 II

【交流会 BBQ】（17：45～20：00）

修了証授与式の後には BBQ 会場へ移り交流会を行いました。入社間もない参加者にとっては貴重な他社との交流の機会であり、参加者間での名刺交換や活発な意見交換が行われました。また、予想以上に盛り上がった交流会の時間もあっという間に過ぎ、埼環協 佐藤会長の一本締めでお開きとなりました。



交流会 BBQ I



交流会 BBQ II



交流会 BBQ III



交流会 BBQ IV



交流会 BBQ V

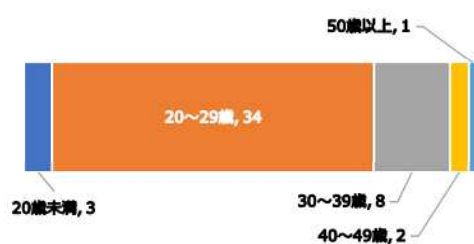


一本締め 埼環協 佐藤会長

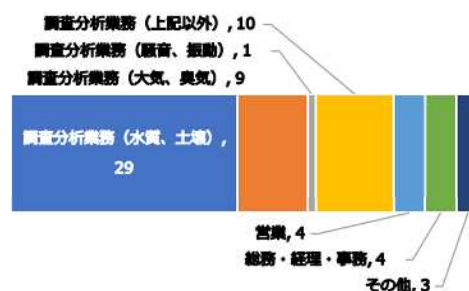
2025 年度首都圏環協連 新任者教育セミナー アンケート集計結果

- ・参加人数 受講者：研修会 69 名、交流会 59 名
世話役・役員：研修会 28 名、交流会 37 名
- ・アンケート回答（途中経過） 現時点で 48 名

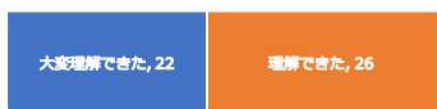
【アンケート結果】



図一 参加者の年齢構成



図二 主な担当業務（複数回答可）



図三 知っておきべき知識 講義内容



図四 技術営業職としてのキャリア形成 講義内容



図五 交流会の会場（レイアウト、席、雰囲気）



図六 交流会の飲食物（軽食・飲み物）



図一七 交流会の進行



図一八 交流会の時間



図一九 将来的な資格取得予定（複数回答可）

研修会全体についてのフィードバック（抜粋）

- ・全体を通して外部との交流が広がり、この業界での職についてよかったと改めておもいました。貴重な場を設けてくださりありがとうございました。
- ・この業界に勤めてきた方々の経験談などいろいろ聞くことができ、とても勉強になりました。
- ・短い時間に多くの学びのある研修会でした。特に、パネルディスカッションでの役員の方々のお話が非常に参考になりました。
- ・先輩社員による、失敗談を聞き失敗をそのままにはせずすぐ報告することの大事さを学びました。

第 36 回 環境測定技術事例発表会報告

「第 36 回 環境測定技術事例発表会」は例年より早い 8 月 29 日に昨年度から引き続き、参加者全員が会場に集まり、対面形式で開催いたしました。

当日は好天にも恵まれ、発表者 7 名の他、会員 22 社 40 名、協賛企業 6 社 10 名、一般参加 3 名に来賓を含め総勢 63 名の皆様に出席いただきました。来賓には東京都環境局 環境改善部 大気保全課 課長 名取 雄太 様、(一社) 日本環境測定分析協会 会長 小野寺 明 様、大阪環境測定分析事業者協会 会長 藤原 幹大 様の計 3 名にご臨席いただきました。

東環協 平賀会長の挨拶



本日は、東京都環境改善部様、日本環境測定分析協会様、当協議会の友好団体である大阪府環境分析測定事業者協会様、一般参加者として申し込み頂きました環境省・水・大気環境局様、また、多くの東京都環境計量協議会会員様、賛助会員の皆様にお集まり頂き感謝申し上げます。

東京都環境計量協議会の会長に就任し、3 年目を迎えております。就任時の 3 年前より環境測定技術事例発表会を分析技術及び現場測定技術に捉われず、総務系、営業系、広報系、また、メーカー技術に関わる幅広い技術事例を募り運営して行きたいと考えてまいりました。

初期においては中々分析技術及び現場測定技術以外の題目が集まらず、苦劳しましたが今期においては東京都環境計量協議会の強い想いが浸透し始め、総務系、広報系に関わる題目の応募がございました。大変喜ばしく、応募して頂きました会員様へ感謝いたします。このことにより会員の皆様に幅広いサービスが行き届き、皆様の独自の技術に活用できるヒントとなれば環境計量業界の更なる発展につながると確信しております。

本日は東京都環境計量協議会の同じ目的を持った仲間達の未来を見据えた環境測定技術事例発表を会員の皆様の独自の技術を未来につなげるヒントにして頂きましたら幸いです。

一つでは十分な力を持たない技術と技術が繋がり、ふとした事から新しい視野が広がり新しい時代が幕を開けると願っております。皆様、創造と言うアンテナを研ぎ澄まし、本日は楽しんでまいりましょう。どうぞよろしくお願い致します。



展示ブース見学



発表の様子



発表の様子

【事例発表・第1部 事例発表①～③】

以下、発表申込書に記載の要旨を引用させていただきました。

① 「高分解能精密質量分析計を用いたノンターゲット PFAS 分析事例の紹介」

一般財団法人東海技術センター 原田 祥行



有機フッ素化合物(PFAS)は、撥水・撥油性、熱・化学的安定性等の物性を示すことから、幅広い用途で使用されている。有機フッ素化合物には炭素鎖の長さが異なる複数の同族体が存在し、その物性は炭素鎖の長さで大きく異なる。

PFAS は環境中での残留性や生物濃縮性が危惧されており、ストックホルム条約(POPs 条約)をはじめとした様々な規制が設けられている。国内では2022年9月に「PFOS 及び PFOA 含有廃棄物の処理に関する技術的留意事項」が策定され含有廃棄物についての分解処理方法等が取りまとめられた。また、2024年6月には「土壌に含まれる PFAS の一斉分析暫定マニュアル～土壌採取から測定まで～」が農研機構から公開され、農地土壌中について多種の PFAS を抽出・検出するための手法が公開された。

本発表では、PFAS を含有する土壌および廃棄物(泡消火剤)を対象に、高速液体クロマトグラフ高分解能精密質量分析計(LC-Orbitrap-HRMS)を用い、約5万種類を収録した PFAS データベースならびに Kendrick Mass Defect (KMD) 解析を組み合わせたノンターゲットスクリーニングの解析事例について報告する。

② 「PFAS 分析における超純水のブランク検証」

メルク株式会社 八木 馨太



本研究では、活性炭、逆浸透膜(RO)、連続イオン交換(EDI)、紫外線(UV)、イオン交換樹脂、C18 逆相シリカ最終フィルターといった多段階精製技術を組み合わせた超純水製造装置により得られる超純水が、LC-MS/MS を用いた PFAS 分析のブランク水として適用可能であることを示した。

実験1では、C18 逆相シリカ搭載の超純水製造装置の超純水と市販の LC-MS 用ボトル水を LC-MS/MS で分析し比較した結果、C18 逆相シリカの最終フィルターを通過した超純水がボトル水以上の水質を提供できることを確認した。

実験2では、EPA ドラフトメソッド 1633 に基づき超純水を検証し、全40種の PFAS が検出下限値以下であることを確認した。

実験3では、水道水供給口、純水タンク出口および最終フィルター直前の3地点にそれぞれ PFAS 混合物(7種、10ppb、1ppb、0.1ppb)を添加する PFAS チャレンジ試験を行い、いずれの場合も最終の超純水中で PFAS が検出限界以下であることを確認した。

以上の結果より、C18 逆相シリカの最終フィルターを含む多段階精製構成を有する超純水製造装置は、高感度 PFAS 分析に必要な超純水を安定的に供給できることが明らかとなった。

③ 「一般廃棄物最終処分場の廃止に係る事前調査の事例」

一般財団法人広島県環境保健協会 東京営業所 野田 憲弘



地方自治体が設置する一般廃棄物最終処分場（以下、「処分場」という。）は、概ね 15～20 年程度で満杯になるよう計画されている。処分場は、設置から廃止に至るまで、施設基準、維持管理基準、廃止基準などの様々な廃棄物処理法の基準の適用を受けながら、自治体が管理運営している。この度、ある自治体の処分場において廃止を検討するための事前調査を受託した事例について、会員への今後の業務の一助になればと思い、結果報告する。

④ 「ガラスビート法を用いた XRF による地質試料の化学組成分析事例」

三菱マテリアルテクノ株式会社

平尾 宜暁、松永 絹子、平井 恭三



資源や地熱開発の調査等において、地質試料の主要 10 成分（ SiO_2 、 TiO_2 、 Al_2O_3 、 Fe_2O_3 、 MnO 、 MgO 、 CaO 、 Na_2O 、 K_2O 、 P_2O_5 ）の組成を把握することは非常に重要である。

湿式化学分析法ではコストと時間がかかるため、より安価で良好なスループットが期待できる蛍光 X 線（XRF）による分析を試みた。

試料調整においてパウダープレス法では、粒度効果、鉍物効果、偏析などの不均一性等が大きく X 線強度に影響し分析値の誤差要因となる。また定量情報が必要な場合は FP 法よりも検量線法が望ましい。

そこで試料および標準試料の調整にガラスビード法を用い、検量線法による組成分析を検討した。

【協賛企業によるプレゼンテーション その1】

事例発表第一部の最後は、協賛企業3社によるプレゼンテーションがありました。

ジーエルサイエンス株式会社様からは、会社案内及びPFAS分析の前処理装置の案内について、輝達商事株式会社様からは、中古分析機器の買い取りと販売について、東ソー株式会社様からは、イオンクロマトグラフ装置について、それぞれご紹介いただきました。



ジーエルサイエンス株式会社様



輝達商事株式会社様



東ソー株式会社様

ブース見学/休憩



ジーエルサイエンス株式会社様



輝達商事株式会社様



東ソー株式会社様



日本コントロールシステム株式会社様



日東精工アナリテック株式会社様



ビーエルテック株式会社様

協賛企業によるプレゼンテーション その2

休憩時間を利用した展示ブース見学のアとは、引き続いて協賛企業3社によるプレゼンテーションがありました。

日本コントロールシステム株式会社様からは、会社案内及び現場写真自動リンク管理システム「pictum」について、日東精工アナリテック株式会社様からは、小型蒸留装置及び自動試料燃焼装置 について、ビーエルテック株式会社様からは連続流れ分析及び酸添加加熱分解装置について、それぞれご紹介いただきました。



日本コントロールシステム株式会社様



日東精工アナリテック株式会社様



ビーエルテック株式会社様

【事例発表・第2部 事例発表⑤～⑦】

以下、発表申込書に記載の要旨を引用させていただきました。

⑤ 「推定法（クリエイトシンプル法）によるリスクアセスメントの実施と分析業務への効果」

株式会社環境管理センター 技術センター

齋藤 映里依、川勝 美優、福本 由美



日本における化学物質規制はこれまで、限られた特定の物質や作業に対する規制を順守する「法令順守型」の管理が主流であった。しかし近年では、事業者自らが情報に基づいてリスクを見積もり、低減対策を検討する『リスクアセスメント』を行う「自律管理型」へと移行している。労働安全衛生法の改正により化学物質のリスクアセスメントは義務化されており、その対象物質は2025年7月現在で3000種類以上にのぼる。

リスク見積もりの手法としては、作業環境中の気中濃度を実測する方法が最も確実であるが、対象物質が多い場合には労力やコスト面での負担が大きい。このため、使用量や作業条件から簡易的にばく露濃度を計算することができる推定法も広く用いられている。今回は多数の物質について効率的にリスクを見積もるため、推定法のひとつである CREATE-SIMPLE 法を採用した。

今回のリスクアセスメントにより、試薬や作業場所の変更といったばく露低減対策を実施するとともに、分析員の安全意識の向上や保有試薬の削減といった副次的効果も得られたことについて報告する。

⑥ 「ユーロフィン日本環境における総務チームのご紹介」

“～アルコールチェックの取組みと社内イベントについて～”

ユーロフィン日本環境株式会社 坂谷 友之



2021年に発生した飲酒運転事故を契機に、道路交通法が改正され、企業にはアルコールチェックの義務が課された。夜間業務、祝日業務などの不規則な業務も多い分析業界においては車両運転前後のチェック体制を構築するハードルが高い。今回外部サービスを利用したことにより、管理者の負担軽減やチェック実施率の改善が見られた。

また、相互理解、信頼関係の構築を目的として2023年より従業員家族向けに職場体験イベント「ファミリーデー」を実施しており、イベント実施後のアンケートからはご家族・従業員双方から高評価を得られるとともに、従業員満足度の向上がみられた。

⑦ 「エコプロ出展で環境を「はかる」魅力を発信」

株式会社環境管理センター 筒井 眞



環境管理センターは、2023 年および 2024 年の 2 年連続で、「エコプロ」に出展いたしました。

「エコプロ」は、毎年 12 月に東京ビッグサイトで開催される、日本最大級の環境展示会です。1999 年に始まり、2024 年で 27 回目の開催となりました。

企業や自治体、教育機関、NPO など幅広い団体が出展し、カーボンニュートラル、再生可能エネルギー、循環型社会、SDGs、ESG 経営といった多様なテーマに関する最新の取り組みが紹介されます。

2024 年は 550 団体・1170 ブースが出展し、来場者数は約 65,000 人。小中高生などの子ども団体は約 9,600 人を数え、環境教育の場としても注目を集めています。

【懇親会】

事例発表会のあとは、アルカディア市ヶ谷 6 階「霧島（西）」にて恒例の懇親会が、東環協 機関理事の司会進行により 17:30 にスタートしました。東環協の平賀会長から主催者挨拶があり、(一社)日本環境測定分析協会の小野寺会長より来賓挨拶をいただきました。

大阪環境測定分析事業者協会の藤原会長による乾杯のご発声をいただき懇親会が始まりました。



東環協 平賀会長による主催者挨拶



日環協 小野寺会長による来賓挨拶



大環協 藤原副会長による乾杯のご発声

発表会の緊張感から開放され、和やかな雰囲気の中、名刺交換や発表者・展示協賛企業への質問などが活発になされ、参加者間の交流が行われていました。通常の業務では同業他社の技術者と交流する機会がなかなかないこともあり、参加者間の交流は大変有意義なものであったようです。

会場の皆さんのお腹も満たされ、お酒の酔いも程よく回ってきたところで、本日の発表者への記念品の贈呈が行われました。司会者からの指名で一人ひとり壇上に上がっていただき、平賀会長から記念品が渡され、会場から盛大な拍手が送られました。

さらに、展示協賛企業の皆様にも壇上に上がっていただき、本日の事例発表会の感想や、製品紹介をご披露いただきました。



記念品の贈呈



発表者の皆様



展示協賛企業の皆様



会場風景

盛大に盛り上がった懇親会ですが、楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は東環協 大杉理事による、一本締めで懇親会がお開きとなりました。発表者の皆様におかれましては、素晴らしい事例発表をありがとうございました。来年度の事例発表会も多くの方々にご参加いただけることを祈念いたします。



東環協 大杉理事による中締め

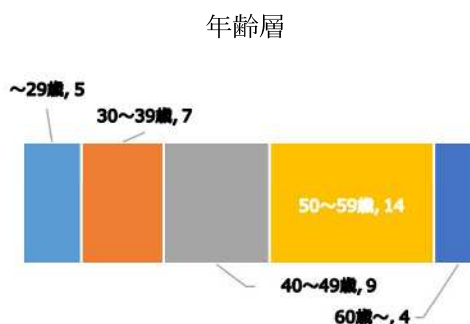
【アンケート集計結果】

参加者の皆様に事例発表会後のアンケートにご協力いただきました。「事例発表の中で興味を持った、参考になった発表はありますか？」の回答では7題の発表が9～18%と拮抗した結果になりました。

最も興味をもった発表についての感想を自由形式で回答いただいたので、その一部をご紹介します。他にも貴重なご意見・ご感想を寄せていただきましたので、このアンケートの結果は今後の事例発表会運営の参考にいたします。有難うございました。



図一 参加者の構成



図二 参加者の年齢構成

職種【正会員限定】



図三 参加者の職種

【参加者からの感想】

近年、注目されているPFASについて多種類の同時分析、かつ解析を組み合わせることで、見落としがちな物質も推定する等、技術力に感服しました。更なる技術の発展に期待します。(事例発表①)

とても勉強になり、興味を持ちました。(事例発表②)

埋立終了後、廃止までの後押しを、業務を通じて行えることは、このような業界に関わる身としてとても意義を感じました。協働の呼び掛けも会の主旨に沿っていて好事例だと思います。(事例発表③)

地質試料を用いた分析ノウハウ、大変参考になりました。測定元素によって特性があったり、ガラスビード法は技術者の技量の差が少ないメリットがあるなど、今後の展開に期待します。(事例発表④)

クリエイトシンプルは自社の対応だけでなく、他社からの相談も多いため、参考になりました。(事例発表⑤)

ファミリーデー等の活動で社員のエンゲージメントを図っていることにとても興味を持ちました。(事例発表⑥)

イベント・展示会の集客や展示内容の工夫点が聞けて大変参考になりました。(事例発表⑦)

大環協環境測定技術事例発表会 交流講演

9月10日（水）に大阪環境測定分析事業者協会主催の第41回環境測定技術事例発表会が大阪産業創造館で開催され、東環協からの交流講演として、株式会社オオスミの中村宣央氏による「ふっ素蒸留分析における小型蒸留装置の導入事例」という演題での発表が行われました。また、当日の発表プログラムは、下記のとおりでした。



発表の様子

株式会社オオスミ 中村氏

【特別講演】

「疲労回復と集中力アップ！～明日からできる睡眠の質向上のヒント」

尾形メンタルサポート 尾形 賢一

【事例発表】

第1部

「連続流れ分析装置による、水銀を使用しない塩化物イオンの測定検討」

株式会社片山化学工業研究所 鈴木 隆斗

「ガラスビード法を用いた XRF による地質試料の化学組成分析事例」

三菱マテリアルテクノ株式会社 平尾 宣暁

第2部

「騒音モニタリングシステム（NorCloud）の紹介」

リオン株式会社 増見 洋治

「自動測定システムを用いた、水銀を含む金属一斉分析法の適用試料拡大に関する検討」

ビーエルテック株式会社 神野 良誠

第3部

「多変量解析（主成分分析）を用いた においかおり評価」

株式会社カネカテクノリサーチ 尾川 志織

「ふっ素蒸留分析における小型蒸留装置の導入事例」

株式会社オオスミ 中村 宣央（東環協交流講演）

「令和6年度 大環協共同実験結果報告」

株式会社片山化学工業研究所 伊藤 絢子

2025 年度 役員の役割分担

2025 年度より従来の行事ごとの役割分担を変更し、全体統括として会長と副会長を据え、実務は業務、技術、広報の 3 つの委員会に役割を割り振り、各々の理事、委員はいずれかの委員会に所属し事業を推進していくことといたしました。

各委員会の役割及び委員の一覧は下記のとおりです。

何とぞ宜しくお願いいたします。

○全体統括

- ・役割

東環協の実施する事業全体を統括

- ・担当役員

平賀会長、木村副会長、近野副会長

○業務委員会

- ・役割

東環協の基幹業務及び対外的な交流、折衝を担当する

- ・担当行事

総会・役員会、首都圏環協連・災害協定他外部団体交流、新年賀詞交歓会

- ・担当役員

木村副会長、大杉理事、笹嶋理事

○技術委員会

- ・役割

東環協における技術に関する業務を担当する

- ・担当行事

事例発表会、大環協事例発表会（交流講演）、技術研修会、教育研修事業、精度管理事業

- ・担当役員

近野副会長、織間理事、野田理事、石山監事、関島委員

○広報委員会

- ・役割

東環協の広報に関する業務を担当する

- ・担当行事

東環協ニュース、HP 情報更新、都民計量のひろば、50 周年を見据えての準備

- ・担当役員

村野理事、藤田理事、小柳監事、大中委員

関係機関・団体の動き

2025 年 10 月現在、既に実施または今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです〔東環協ニュース第 184 号以降分〕。

○ 首都圏環境計量協議会連絡会

・首都圏合同・新任者教育セミナー	6 月 12 日	両国ステーションロハスビル
・2025 年度第 1 回委員会	6 月 12 日	レンタルスペース両国 PORT
・2025 年度第 2 回委員会	8 月 5 日	ユーロフィン日本環境(株)
・2025 年親睦ゴルフ大会	10 月 31 日	南総カントリークラブ
・2025 年度第 3 回委員会	12 月 9 日	未定
・県単合同研修会	2026 年 2 月 13 日	TKP ファビット丸の内

○ (一社)神奈川県環境計量協議会

・2025 年度通常総会	5 月 20 日	横浜テクノタワーホテル
・環境研究合同発表会	6 月 30 日	川崎市役所
・親睦地引網大会	9 月 13 日	鵜沼海岸
・事例発表会	2026 年 1 月 29 日	

○ 千葉県環境計量協会

・2025 年度通常総会	4 月 18 日	ホテルプラザ菜の花
・技術発表会＋技術者フォーラム	11 月 28 日	

○ (一社)埼玉県環境計量協議会

・2025 年度通常総会	5 月 30 日	THE MARK GRAND HOTEL
・県民計量のひろば	11 月 1 日	大宮西口 DOM ショッピングセンター
・新春講演会・研究発表会	2026 年 1 月 30 日	TKP ガーデンシティーPLEMIUM 大宮ホール

○ (一社)日本環境測定分析協会

・2025 年度通常社員総会	5 月 27 日	タワーホール船堀
・環境セミナー全国大会	10 月 16 日	
	～17 日	ホテル ライフォート札幌
・経営セミナー	11 月 28 日	ANA クラウンプラザホテル富山

東環協からのお知らせ

○ 2025 年度 主要行事

・ 2025 年度通常総会	5 月 8 日	アルカディア市ヶ谷
・ 環境測定技術事例発表会	8 月 29 日	アルカディア市ヶ谷
・ 大環協環境測定技術事例発表会交流 講演	9 月 10 日	大阪産業創造館
・ 災害時アスベストばく露・飛散防止研修会	10 月 15 日	都庁 及び Web 配信
・ 都民計量のひろば	11 月 1 日	東京都計量検定所
・ 技術研修会、賀詞交歓会	2026 年 1 月 14 日	アルカディア市ヶ谷

○ 事務局からのお知らせ

・ 現在の会員数 (2025 年 9 月 30 日現在)

正会員	58 社	
賛助会員	18 社	合計 76 社

○ 編集後記

「東環協ニュース(第 187 号)」が完成しましたので皆様にお届けいたします。本号は 5 月に行われました通常総会及び本年度の役員体制、その他 9 月までに実施された研修会等を中心に記事を掲載しました。本年は環境測定技術事例発表会が例年の 11 月から 8 月へと開催時期を変更し、年末から年始にかけて偏っていた行事の開催時期の均衡化を図りました。今後も従来のやり方にとらわれず今まで以上に皆様のお役に立てる組織として邁進する所存でございます。今後とも会員の皆様のご協力をお願い致します。

なお、来年 1 月には技術研修会、賀詞交歓会の開催が予定されています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

PFAS分析用 関連試薬・機材

Related products and equipment for PFAS analysis



Water Supply Act



Environmental Water



PFAS in Soil



Food Sanitation Act



PFAS in Food



PFAS in Blood

標準液(CRM)

- 標準品・標準液・内部標準液
- 混合標準液・混合内部標準液

メソッド対応 混合標準液

- 水道水・環境水対応
- ISO21675
- EPA method 533
- EPA method 537.1
- EPA method 1633
- 欧州飲料水指令
- FDA

固相抽出

- アジレント社 固相抽出カラム
- 自動固相抽出装置 SPE-O3



分析

前処理



試料採取



関連試薬

- PFAS試験用 メタノール
- 1 mol/L 酢酸アンモニウム
- LC/MS溶媒
(アセトニトリル -Plus-)
(蒸留水 -Plus-)
(メタノール -Plus-)

※ ブランク中のPFOS、PFOA、PFHxSを保証

関連機材

- 分析用カラム
- フィルター類
- PFCフリーバイアル
- クイック気密保存びん



高圧ガス工業の標準ガス

高圧ガス工業は環境測定のお手伝いに徹し貢献していきます

標準ガスは、様々な用途で使用されています。大気測定から煙筒、排気ガス、医療現場と幅広いユーザー様に支持を受けています

Standard Gas

◆ラインナップ

- ・ JCSS標準ガス 1級、2級、零位
- ・ 一般標準ガス
- ・ 医療機器校正用標準ガス

◆容器 / 充填圧力

- ・ 容器種類：3.4L 10L 47L マンガン容器
- ・ 口 金：W22×14山 右・左
- ・ 充填圧力：14.7 MPa max
- ・ 脱着キャップ、ハンドルバルブ



High Purity Gas

◆ラインナップ

- ・高純度アルゴン UP1 99.9999 % UP3 99.999 %
- ・高純度窒素 UP1 99.99995 % UP3 99.9995 %
- ・高純度水素 UP1 99.99999 % UP2 99.9999 %

◆容器 / 充填圧力

- ・ 容器種類：3.4L 10L 47L マンガン容器
- ・ 口 金：W22×14山 右・左
- ・ 充填圧力：14.7 MPa max
- ・ 脱着キャップ、ハンドルバルブ

Pressure Regulator

◆特長

- ・理化学機器に特化した、高品位の圧力調整器で、ガスを安定した圧力と流量で供給できるよう設計されています

◆スペック

- ・HP-1：1段減圧 供給圧 0-0.9 MPa
- ・HP-2：2段減圧 供給圧 0-0.9 MPa
- ・Bs/ステンレス製



高圧ガス工業株式会社

ガス開発部 特殊ガス課

<http://www.koatsugas.co.jp>

東京事務所 東京都千代田区内幸町1丁目2番1号 日土地内幸町ビル9階
滋賀高圧ガス流通センター 滋賀県東近江市五個荘川並368番地

TEL 03-3595-3122
TEL 0748-48-5933

全自動固相抽出装置

アクアトレース ASPE899



コンディショニング

試料通水

洗浄

脱水・乾燥

溶出

濃縮

アクアトレースは、これらの工程をすべて自動化することができます。

PFAS 分析用固相カラム

InertSep WAX FF

逆相 + 弱アニオン交換カラム



InertSep MA-2

弱アニオン交換カラム



中古分析機器 買取ネットワーク

処分にお困りの分析機器

高価買取

クロマト分析装置

Chromatographic analyzer

光分析装置

Spectrometer analyzer

電子顕微鏡

Electronic microscope

バイオ関連分析装置

Bio related analyzer



輝達商事株式会社

TERUTATSU SHOUJI CORPORATION

東京本社 〒113-0034 東京都文京区湯島2-6-2 SORAお茶の水マンション 1F TEL:03-5944-9968

関西事業所 〒533-0022 大阪府大阪市東淀川区菅原6-14-20 船睦ビジネスハウス AA TEL:06-6459-9325

URL:<https://www.terutatsu.co.jp>

高速イオンクロマトグラフ

IC-8100



ION CHROMATOGRAPH

IC-8100

先進のセパレーションテクノロジーを継承、
さらに進化したニューコンセプトIC…
ますますの快適さと信頼性をお届けします。

高速多検体

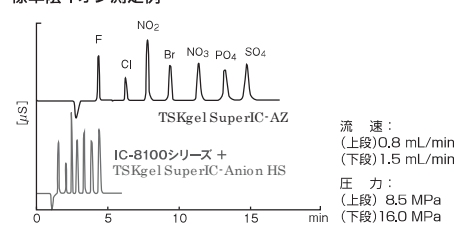
測定時間5分のハイスループット分析を実現

高速分離カラムとの組み合わせで、陰イオン・陽イオンの測定がそれぞれ5分で終了。測定時間を大幅に短縮できます。

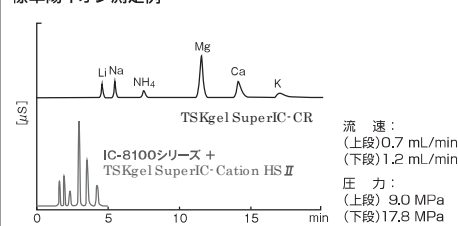
陰イオン測定時間16分から 5分へ短縮(当社比)

陽イオン測定時間20分から 5分へ短縮(当社比)

標準陰イオン測定例



標準陽イオン測定例

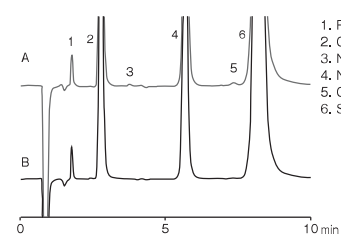


測定時間10分で臭素酸を含む水道水質基準項目の分析を実現

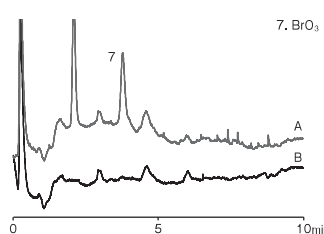
水道水質分析用の高速高分離カラムと、高感度ポストカラム反応システムを用いる事で、臭素酸を含む水道水質基準項目が10分以内で測定できます。従来、複数の条件で行なわれていた分析を一度の測定で行うことが可能です。

臭素酸を含む水道水質基準項目の一斉分析

●電気伝導度検出器



●ポストカラム反応・紫外可視吸光度検出器



IC-8100シリーズ +
TSKgel SuperIC-WA

[試料]

A: 水道水(臭素酸イオン(0.001 mg/L)、
亜硝酸イオン(NO₂-N)として0.004 mg/L)、
塩素酸イオン(0.06 mg/L)をそれぞれの濃度
になるよう添加、さらにエチレンジアミン溶液
(50 mg/L)を1 mL/Lの割合で添加)
B: 水道水(添加無)

[検出]

電気伝導度検出器とポストカラム反応
→紫外可視吸光度検出器(268 nm)
を直列に接続して同時検出

※ "IC-8100" は日本における東ソー株式会社の登録ロゴです。



東ソー株式会社
バイオサイエンス事業部

東京本社営業部 ☎(03)6636-3733 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-2-1
大阪支店 バイオサイエンスG ☎(06)6209-1948 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-4-9
名古屋支店 バイオサイエンスG ☎(052)211-5730 〒460-0008 名古屋市中区栄1-2-7
福岡支店 ☎(092)710-6694 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-8-10
仙台支店 ☎(022)266-2341 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-1
カスタマーサポートセンター ☎(0467)76-5384 〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2743-1
バイオサイエンス事業部ホームページ <https://www.separations.asia.tosohbioscience.com/>

M2406GD.B

ふっ素・シアン・フェノール・アンモニア

小型蒸留装置DS-5100

- JI2025 年4 月1 日より環境省告示へ適用
公共用水域水質環境基準、地下水環境基準、土壤環境基準及び排水基準等
- 試薬と廃液量・蒸留時間が削減され、より効率的に多くの蒸留操作ができるようになりました。



従来の
蒸留装置に
比べて

蒸留の作業時間
約 $\frac{1}{2}$ ~ $\frac{1}{3}$

試薬の廃液量
約 $\frac{1}{7}$

設置スペース
約 $\frac{1}{5}$

燃焼イオンクロマトグラフ

自動試料燃焼装置AQF-5000H

- イオンクロマトグラフの検量線溶液自動調製機能および吸収液自動希釈機能を新たに追加しました
- PFAS・SAFのスクリーニング分析に最適
- 吸収液を自動で分取しイオンクロマトグラフ以外の分析手法への応用も可能なオプションもご用意

硫黄
ハロゲン
同時測定

吸収液の
自動希釈
機能

検量線
溶液の
自動調製



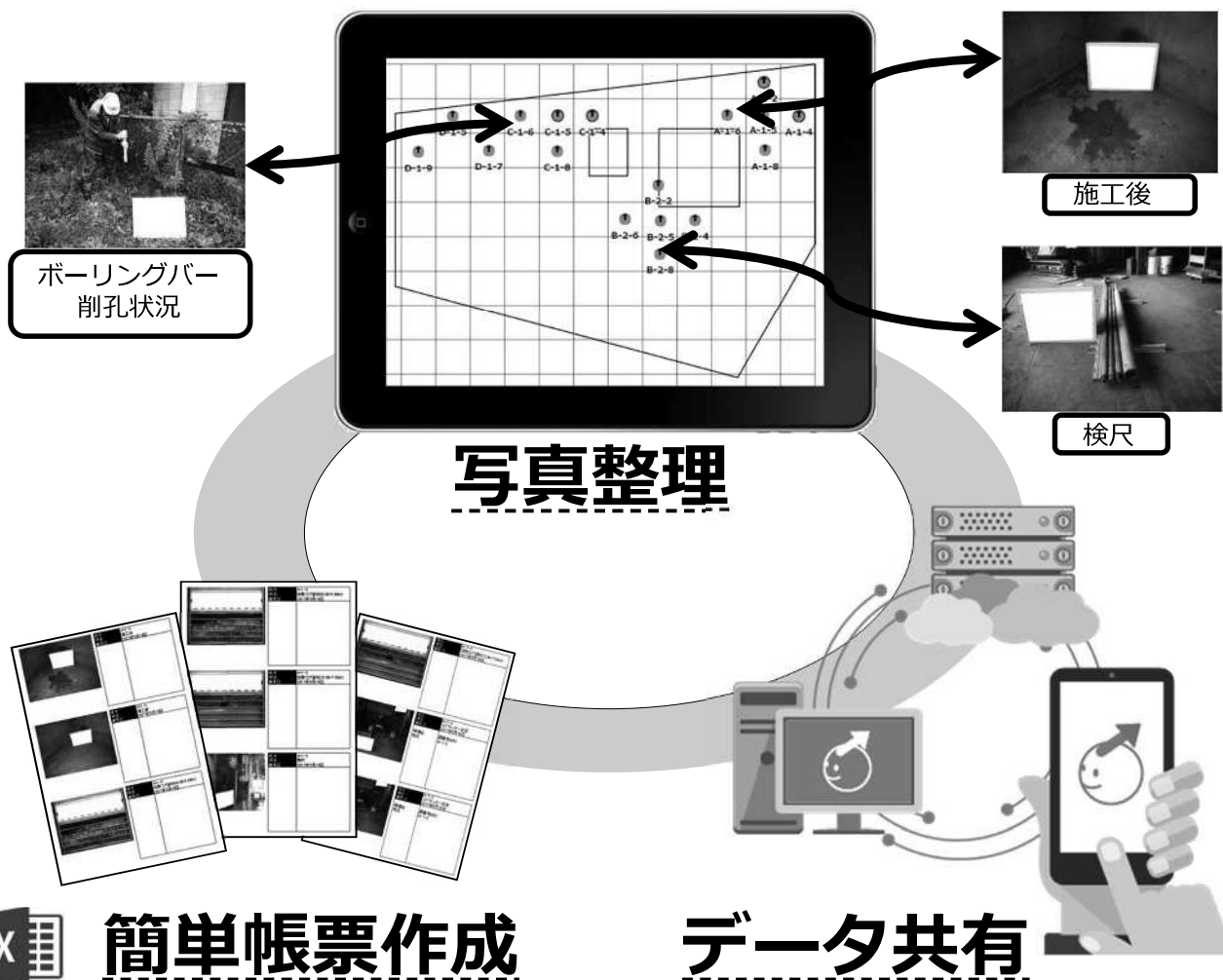
日東精工アナリテック株式会社

TEL:046-278-0036 FAX:046-278-0037

ホームページ

<https://www.n-analytech.co.jp/>

製品の特長



タブレットを現場で活用すると…？？？

- ✓ 地歴調査の現地踏査写真整理業務、工数 80%削減！
- ✓ 土壌汚染状況調査の写真整理業務、工数 50%削減！
- ✓ 現場管理者が調査進捗状況をリアルタイムに確認可能！
- ✓ 作業員が試料採取済み箇所を瞬時に把握！

■採用実績(五十音順)

株式会社環境管理センター、帝人エコ・サイエンス株式会社、他



■製品のお問い合わせ

日本コントロールシステム(株)

<http://www.nippon-control-system.co.jp/>

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-18 三富ビル新館5F

TEL : 03-3443-5081 (ピクタム担当)

MAIL : pictum@nippon-control-system.co.jp

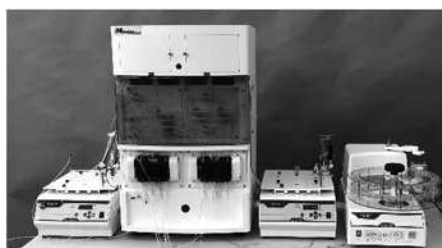
ビーエルテックの自動化学分析装置



新型オートアナライザー 「MiSSion」

ふっ素 シアン フェノール類 全窒素 全りん

- 1 新開発の光学系により測定レンジが広がりました。
- 2 原理は、気泡分節型連続流れ分析法（CFA）で計量証明機関で多くの実績があります。
- 3 ふっ素、シアン、フェノール類の蒸留、発色操作も自動で行えます。
- 4 全窒素全りんのオートクレーブ分解、発色操作も自動で行えます。
- 5 自動洗浄装置装着時、オートスタート機能、自動プラテンリリースできます。
- 6 国内生産です。
- 7 JISK0102、環境省告示対応メソッドです。 1時間20検体測定ができます。



MiSSion-ふっ素シアン



MiSSion-全窒素全りん

全自動酸化分解前処理装置 DEENAシリーズ

特長

1. 試薬を自動で導入できます。
2. 自動で加熱をします。
3. 内部標準も入れられます（オプション）
4. メスアップも自動で行います。



DEENA60

(50mlバイアル 60本掛け)

連続流れ分析法（CFA法）を用いた、酸添加加熱分解装置AATM（アトム） 特長

1. 液体サンプルは、酸と混合、加熱しICP-MSへそのまま導入され測定されます。
2. 気泡分節のCFA法を利用した装置です。
3. 土壌汚染関連、排水、飲料水など全自動で測定できます。



ビーエルテック株式会社 <http://www.bl-tec.co.jp>

本 社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-25-7 江戸堀ヤタニビル2F
TEL : 06-6445-2332 FAX : 06-6445-2437

東京本社 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモビル4F
TEL:03-5847-0252 FAX : 03-5847-0255

九州支店 〒811-3311 福津市宮司浜1-16-10-101
TEL:0940-52-7770 ※FAXは本社へ

カウントダウンはじまる!

希望販売価格※が
最大 **20%**
割引

PFAS 対応 水道法改訂 Milli-Q® からできる応援キャンペーン

2026 年 4 月法規制スタートに向けて!
Milli-Q® で安心の水質管理を

キャンペーン期間

2025 年 9 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

お見積り有効期限：2026 年 4 月末

対象のお客様

PFAS 分析用に Milli-Q® 導入を検討されるお客様
(水道事業所、受託分析を含む官公庁・企業・大学・研究機関を問わず)

PFAS 検査が義務化! 水道水の安全基準が新時代へ

PFOS と PFOA が
2026 年 4 月から
引き上げ

水質基準

水道事業に
検査・順守義務あり

水質管理
目標設定項目

検査・順守義務なし

PFNA など 7 種の
PFAS 追加

要検討項目

厚生労働省では現在 PFAS 分析の手法を整備中ですが、WHO (世界保健機関) や米国環境保護庁 (EPA)、EU では LC-MS/MS による分析を推奨しています。

※ キャンペーン期間中に希望販売価格 (税別) が予告なく変更される場合があります。
その際には、変更後の希望販売価格 (税別) へ割引率が適用されます。

The life science business of Merck operates as MilliporeSigma in the U.S. and Canada.

